

# 講義の風景

法学部国際インターンシップ I

山内惟介教授、雁金利男客員教授  
Yamauchi Koresuke Karigane Toshio (大和総研顧問)

総合講座II「国際金融証券市場と法」(水曜日5限/2-4年生)

2年になって、大学環境に慣れてきたまわりの友人から、ちらほらとこんな声が聞かれはじめた。「大学で勉強していることは、社

会に出て役に立つのだろうか」

基本的な理論の重要性は重々承知でも、いざ実践するとなったら……。

そんな疑問にストリートに広がる講座が法学部のインターンシップ・プログラムにあるらしい。「国際金融証券市場と法」、国際インターンシップの一つである。うわさに聞いて、前期第12回目の授業を聴講した。

## スペシャルな講師陣

このプログラムの特色は、講師陣

## 国際金融・証券の最前線へ

# 大和証券グループが全面協力

が金融証券ファイナンスの第一線で活躍しているスペシャリストたちという点。じつは大和総研を中心とした大和証券グループが全面協力した、法学部とのコラボレーション講座である。

どういう顔ぶれか。講師のポジションを「肩書き」からみてみよう。「大和IR取締役」「大和総研次長」(2人)「大和SMB C参与」「同

専務」「同部長」(2人)……。

大和SMB Cといえば、先のライブドアによるニッポン放送・フジテレビ買収騒動で、たしかフジ・サイドの戦略アドバイザーとして、その名を耳にしたばかりでもある。

前期は、そうした経験豊富な講師陣が、金融証券ファイナンスの基礎知識や国際金融証券市場の法務・現状にわたる「理論と実際」を講義し、夏期休暇中には、受講生全員が国内および海外でのインターンシップを

## 教室も「女性進出」

——おらずと教室に入ってみて驚いた。20人ほどの受講生のほとんどは女性、その割合のほどに(正確には受講生は19人。うち14人が女性だ)。見ず知らずの記者にもフレンドリーに「こんにちは」と声をかけ、とても和やかな雰囲気。固いイメージの「金融」「証券」の分野でも、確実に女性の社会進出は進んでいるらしい。おなじ女性として実に頼もしい。

でも、レジュメを見て、一瞬ひるんだ。わけの分からない数式や記号満載なのである。数学をサボった高校生活を嘆いていると、ほどなくして山内惟介教授が、本日の講師、樺澤敏男・大和証券SMB C部長を紹介して、講義ははじまった。

ふたりと並んで、雁金利男・法学部客員教授。62年中央大学法学部卒。大和証券取締役などを歴任して現在は大和総研顧問。この講座全般のコーディネーターである。

「樺澤先生は本学法学部の卒業生(86年)でいらっしやいます。海外留学の体験などのお話もしてください」

通して「実務」を経験する。教室そのものがグローバル経済下のダイレクトな現場、といった趣がある。《法学部インターンシップには、「国際」「行政」「NGO・NPO」「法務」の4分野がある。「国際」分野では他に外交官や国際公務員などを志向する「外交と国際業務」コースも設けられている》



大和証券SMBC部長・榊澤敏男が現場のブロク

るとのことなので、しっかりと話を聞いて先輩に学んでください」

自身の経歴話から、榊澤部長の講義が進んだ。「わたしの学生時代は日本の国力がピークに達した本当に良き時代でした。そのころは、製造業より金融業が脚光を浴びるという時代で、わたし自身もその流れにのって証券会社に就職しましたが、大学時代は政治家になりたいと思っただけでもありませんよ」。バブル崩壊はまだ知らず、日本経済が「ジャパン・アズ・ナンバー1」まで上りつめた80年代の「栄華」の時期にあつた

ている、と言う。

### ホリエモンWHAT?

「日本の株主は、これまで企業の経営方針に細かく口出ししたりしない、いわゆるモノ言わぬ株主というのが一般的な考え方でした。しかし、序々に日本のこのスタイルは変わりつつあります」

典型的な例は、先にも触れた堀江貴文社長率いるライブドアが、フジテレビの間接支配をめぐって仕掛けた、ニッポン放送株をめぐる攻防戦。最後は、仲良く記者会見を開いて一

応は円満に解決したようだが、なぜあれほどの騒ぎになったのか。そもそも堀江社長の狙いって何?

榊澤部長は、それらの疑問をわかりやすく解説していく。

「堀江さんや村上ファンドがやっていることは、現在の株価が本来の企業価値よりも低いものに投資することです。顕在化されていない企業価値があり、それが現状の株価に反映されていない、すなわち株価が割安なもの。特に有価証券やキャッシュなど本業に関係ない資産をたくさん持っている会社が、今後このような買収のターゲットとなる可能性がありますね」

### 「会社は株主もの」…なの

つまり、ホリエモンや村上ファンドにとつて、株式市場は宝の山、ということだろうか。しかし、このようなモノ言う株主の短期的な投資にかきまわされると、企業側のリスクは高まる。最近ではリスク回避のため、株式を非公開にする企業も出はじめている。伝統的に会社と社員第一で株主の配当利回りが低いとされる日本でのこのような変化は、株主

主権の回復という意味合いでは歓迎されるべきものだが、企業は株主に利益を配当するだけの道具になってしまわないか。「会社は株主のものだ」と断じる堀江社長らの主張と、「法人資本主義」ともよばれる日本的経営風土の軋轢…論議をよんだところである。

「わたし自身は」と榊澤部長は話した。「会社は株主のものだけではないと思います。もちろん株主のものではありませんが、会社は株主を含めたさまざまなステークホルダーによつて成立している。あくまでも個人的な見解ですが、やはり企業経営の現場において一生懸命働いている社員をみると、社員の実存は大きいと感じますね」

榊澤部長は、大和証券SMBCの投資先である(株)オキハラ代表取締役副社長も兼ねている。

講義は、ときにアメリカとの比較も交えながら、日本型経営の変遷をたどる。モノ言わぬ株主から、モノ言う株主へ。このような変化はなぜ起きたのか。2つの要因があるという。1つは、グローバル・スタンダードの考え方が広く日本に浸透しつつ

あること。グローバル・スタンダードに伴う商法や会計基準の変更で企業はより企業価値を意識した経営方針を打ち出す必要性がでてきた。

もう一つは、金融ビッグバンやIT革命によって、国内外のお金の動きが自由化され、外国人投資家や個人投資家が増えたこと。それらの投資家は、従来株式持ち合いしていた法人株主と違ってその企業と特定の関係やしがらみがあるわけではない。

### 「自己責任」で投資する時代

話のなかで印象的だったのは、これまでは銀行が投資のリスクを負っていた側面があるという指摘だ。銀行に預けておけば必ず全額戻ってくるというのが当たり前の感覚だったが、これからはわたしたち一人ひとりがどこの企業にどのようなかたちで「投資」するかということが重要になってくる。自由とリスクの自己責任——わたしたちも賢くならなければいけないのだ。

最後はアメリカ留学の経験談。権澤部長は留学中に学んだことを、Chance, Challenge, Changeの3Cだと話したうえで、大学院生活につ

いて語った。「アメリカの大学院では、挑戦することが要求されます。そして常に前向きに変革していくことがなにより大切なのです。チャンスは誰にでも平等に与えられますが、生かせなければ意味がない。なによりも、主体性が求められます」。

留学は大和証券入社後で、語学の面では苦労話も。「耳」を鍛えなければ英語は話せるようにならないという話を聞き、家ではほりをかぶっていたCNNのCDを浴びるように聞くことで英語力を磨いたそうである。

### 経営センスのある法律家育成

——講義のあとで。

山内教授によると、このプログラムは「企業の第一線で活躍できる経営センスのある広義の法律家を育成する」という1993年創設の国際企業関係法学科の精神の具体化、それを法学部全体へと発展させた一例だという。「コーディネーターの雁金先生には国際企業関係法学科創設時の講演会での講師をお願いしている、折に触れてご支援をいただいております、今回のプログラムも意見交換が契機になっています」



そして、こんな講座ガイドが興味深かった。「従来の法学部教育では、医学で喻えるなら病人治療の専門家、つまり事後的解決の専門家を育成してきました。しかし、国際企業関係法学科は紛争の発生を予防するための法学を学ぶことに重点を置いた学科です。予防法学の観点から、実際に企業で弁護士を使いこなせるような人材を育成することが法学教育の目標です」

権澤部長は久しぶりに訪れた母校の印象を、「中大にはいい思い出がたくさん残っています。いまでも昔も、

資格取得を目指してがんばる学生が多いですね」と言って、続けた。「それ自体も素晴らしいことだけれども、ビジネスの世界で活躍するような人材がもっとどんどん育ってほしいですね」

机上の「理論」が先端的「現実」とリンクする。重要なのは、リンクさせる場所を求め、経験を積むことだ。探していたヒントらしきものが、すこし見えてきた!?

◇ 19人の受講生は8月22日から26日まで、まず「国内研修」として大和証券や東京証券取引所、ジャスダックなどで実務体験したあと9月6日—15日、香港とシンガポールの大和証券グループの現地法人で海外研修を行った。

ここまで徹底したコラボレーション講座は、他大学では例がないかもしれない。

夏期インターシップを終えて後期は、それぞれの体験報告をもとにより実践的な討議・総括がはじまっている。

(学生記者 植松歩美+カメラ・滝沢孝祐II総合政策学部2年)